

科目名	保育実習指導Ⅰ		担当教員	佐藤 隆司・石井 章仁 池谷 潤子・久保 瑤子																																
			担当形態	複数																																
テキスト	「保育所保育指針解説書」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	通年																														
<p>講義概要</p> <p>■到達目標 保育所において、子どもや家庭の状況を知り、適切な援助を行うための準備をし、実習後に実習体験のまとめを行うことで、自身の体験を省察し反省的な実践を行う素地ができる。</p> <p><対象の理解> ・保育所・施設において、子どもや利用者がどのような生活をし、どのように人と関わり、どう成長を遂げるのかなどの視点を持つ。</p> <p><職務の理解> ・保育士・施設の職員が保育観・援助観に基づく意図をもって援助を行っていることを知る。</p> <p><施設の理解> ・地域における保育所や施設の使命を知る。</p> <p><自己課題> ・実習を通して自分自身の良さや課題に気づく。</p> <p>■授業の概要 実習は、本学のあらゆる教科と深く関連する最も中心的な教科です。特に保育実習Ⅰでは、1年次の保育や社会福祉に関する学びを実践する貴重な機会となります。本教科は、この保育実習Ⅰのための事前・事後指導であり、実習の事前を受ける指導のほか、実習後の指導までが含まれます。</p> <p><事前指導> 実習での学びのためには、その前提となる、基本的な生活習慣や立ち居振る舞いも大切になってきます。加えて、現場で学ぶために必要な知識や技術について学びます。</p> <p>事前学習においては、全体での基本的な展開に加え、学生それぞれの達成段階に応じた授業プログラムの設定を行うほか、実習に不可欠な知識や技術の習得（試験等によって確認）をします。</p> <p><事後指導> 実習後の振り返りは、自身が実習を通して何を見て何を感じ、目の前の子どものように関わり、なぜそのように考えたかなどについて、実習の記録や体験を基に仲間同士で振り返り、実習で学んだことをまとめていきます。</p> <p>■授業計画</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回 オリエンテーション</td> <td>第16回 保育所・施設の役割</td> </tr> <tr> <td>第2回 実習をすること</td> <td>第17回 手遊び等と絵本の活用（保育内容と共に学ぶ）</td> </tr> <tr> <td>第3回 障害者スポーツ大会について</td> <td>第18回 実習に向けての手続き等②</td> </tr> <tr> <td>第4回 障害者スポーツ大会への参加</td> <td>第19回 保育所保育指針・保育制度等の理解①</td> </tr> <tr> <td>第5回 障害者スポーツ大会のふりかえり</td> <td>第20回 保育所保育指針・保育制度等の理解②</td> </tr> <tr> <td>第6回 実習に向けての手続き等①、実習におけるマナーと振る舞い</td> <td>第21回 実習記録について② 記録と省察</td> </tr> <tr> <td>第7回 子どもの生活と理解、保育士の職務の理解</td> <td>第22回 実習の目的・心構え（実習の手引きを活用して）</td> </tr> <tr> <td>第8回 利用者の生活の理解、施設職員の職務の理解</td> <td>第23回 実習記録について③</td> </tr> <tr> <td>第9回 手遊び等と絵本の活用（保育内容と共に学ぶ）</td> <td>第24回 先輩の実習体験を聴く（保育所、施設）</td> </tr> <tr> <td>第10回 実習記録について① エピソード記録</td> <td>第25回 保育園職員、施設職員の話</td> </tr> <tr> <td>第11回 乳児保育体験について①</td> <td>第26回 先輩の実習体験を聴く（グループディスカッション）</td> </tr> <tr> <td>第12回 乳児保育体験について②</td> <td>第27回 これまでの学びの確認と実習の目標の設定</td> </tr> <tr> <td>第13回 後期オリエンテーション（実習での学びについて）</td> <td>第28回 事後指導①</td> </tr> <tr> <td>第14回 乳児保育体験の振り返り①</td> <td>第29回 事後指導②</td> </tr> <tr> <td>第15回 乳児保育体験の振り返り②</td> <td>第30回 事後指導③</td> </tr> </table> <p>■準備学習 授業時間外に各自以下の課題に取り組むこと ・授業中に各自が設定した準備課題の実施、記入 ・これまでの実習記録の見直し、修正</p> <p>■評価方法 ・小テスト・提出物等による評価 — 20% ・事後学習の際のふり返りのレポート — 30% ・保育所保育指針等の試験 — 20% ・実習記録 — 30%</p>							第1回 オリエンテーション	第16回 保育所・施設の役割	第2回 実習をすること	第17回 手遊び等と絵本の活用（保育内容と共に学ぶ）	第3回 障害者スポーツ大会について	第18回 実習に向けての手続き等②	第4回 障害者スポーツ大会への参加	第19回 保育所保育指針・保育制度等の理解①	第5回 障害者スポーツ大会のふりかえり	第20回 保育所保育指針・保育制度等の理解②	第6回 実習に向けての手続き等①、実習におけるマナーと振る舞い	第21回 実習記録について② 記録と省察	第7回 子どもの生活と理解、保育士の職務の理解	第22回 実習の目的・心構え（実習の手引きを活用して）	第8回 利用者の生活の理解、施設職員の職務の理解	第23回 実習記録について③	第9回 手遊び等と絵本の活用（保育内容と共に学ぶ）	第24回 先輩の実習体験を聴く（保育所、施設）	第10回 実習記録について① エピソード記録	第25回 保育園職員、施設職員の話	第11回 乳児保育体験について①	第26回 先輩の実習体験を聴く（グループディスカッション）	第12回 乳児保育体験について②	第27回 これまでの学びの確認と実習の目標の設定	第13回 後期オリエンテーション（実習での学びについて）	第28回 事後指導①	第14回 乳児保育体験の振り返り①	第29回 事後指導②	第15回 乳児保育体験の振り返り②	第30回 事後指導③
第1回 オリエンテーション	第16回 保育所・施設の役割																																			
第2回 実習をすること	第17回 手遊び等と絵本の活用（保育内容と共に学ぶ）																																			
第3回 障害者スポーツ大会について	第18回 実習に向けての手続き等②																																			
第4回 障害者スポーツ大会への参加	第19回 保育所保育指針・保育制度等の理解①																																			
第5回 障害者スポーツ大会のふりかえり	第20回 保育所保育指針・保育制度等の理解②																																			
第6回 実習に向けての手続き等①、実習におけるマナーと振る舞い	第21回 実習記録について② 記録と省察																																			
第7回 子どもの生活と理解、保育士の職務の理解	第22回 実習の目的・心構え（実習の手引きを活用して）																																			
第8回 利用者の生活の理解、施設職員の職務の理解	第23回 実習記録について③																																			
第9回 手遊び等と絵本の活用（保育内容と共に学ぶ）	第24回 先輩の実習体験を聴く（保育所、施設）																																			
第10回 実習記録について① エピソード記録	第25回 保育園職員、施設職員の話																																			
第11回 乳児保育体験について①	第26回 先輩の実習体験を聴く（グループディスカッション）																																			
第12回 乳児保育体験について②	第27回 これまでの学びの確認と実習の目標の設定																																			
第13回 後期オリエンテーション（実習での学びについて）	第28回 事後指導①																																			
第14回 乳児保育体験の振り返り①	第29回 事後指導②																																			
第15回 乳児保育体験の振り返り②	第30回 事後指導③																																			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修	特記事項	・実習準備のため授業の全てに出席することが求められます。 ・各教科の取得状況、取り組みの状況等によって、実習に臨むことが可能と判断できない場合には、実習に参加できない可能性があります。 ・事前指導においては、「目標達成別の授業回数」を適用します。それぞれの回の授業の目標が達成できるまで粘り強く指導を受ける事を必須とします。 ・実習が不十分で単位数が認定されない場合、実習指導も合わせて認定されません。 ・単位を修得出来ない場合、次年度の保育実習Ⅱ、Ⅲ及び保育実習指導Ⅱ、Ⅲは履修できません。・課題レポートについては、翌週の授業で、全体へコメントをフィードバックします。																																	
		幼保	保育実習																																	